



家で使う

<sup>たんまつ</sup>端末は、学校だけでなく、家に持ち帰って使うこともできます。

家で宿題をしたり、友だちと<sup>いっしょ</sup>一緒に課題の続きをしたりと、家で<sup>たんまつ</sup>端末を使うことで、様々な学習を行うことができます。

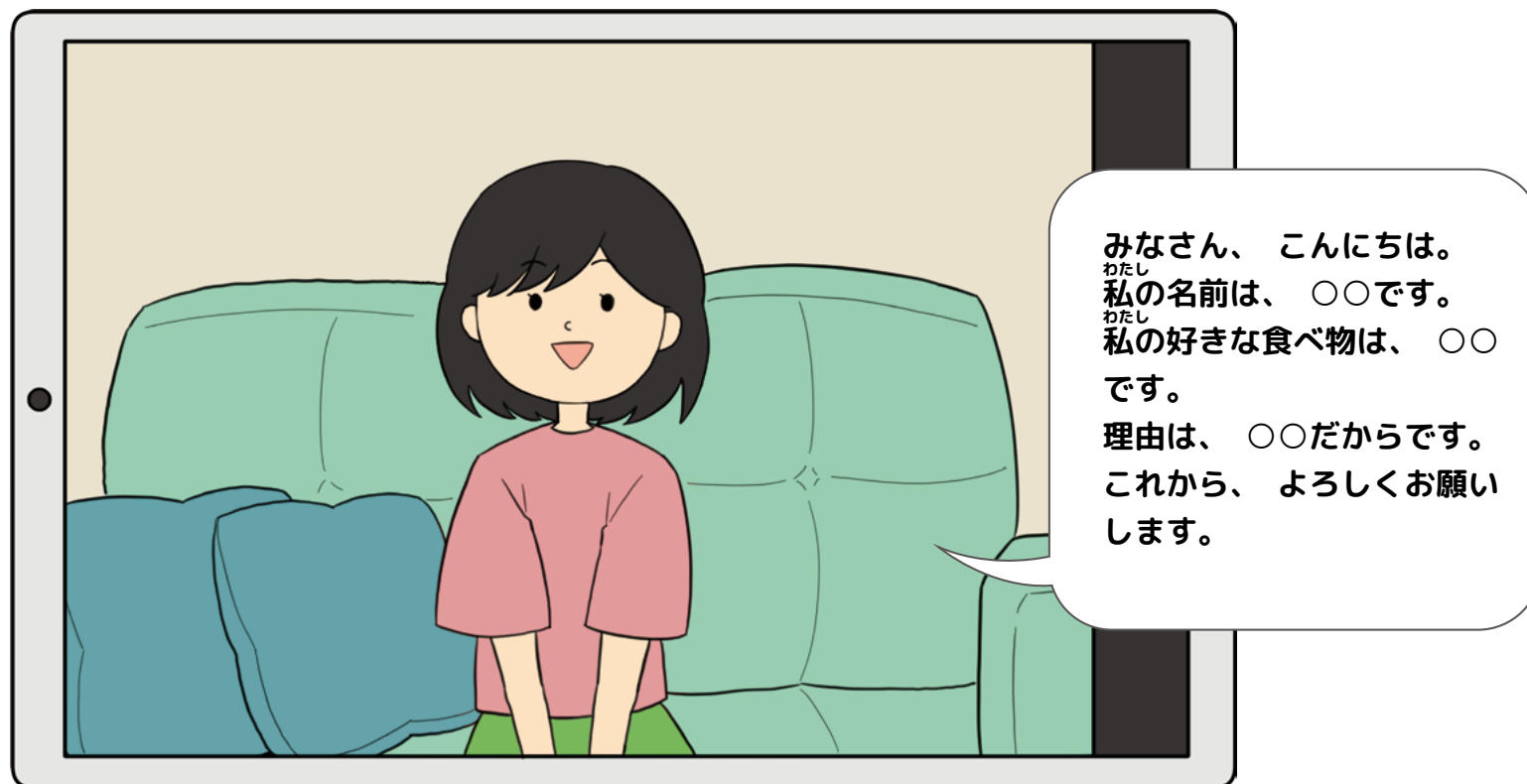
ここでは、<sup>たんまつ</sup>端末を家で使うときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

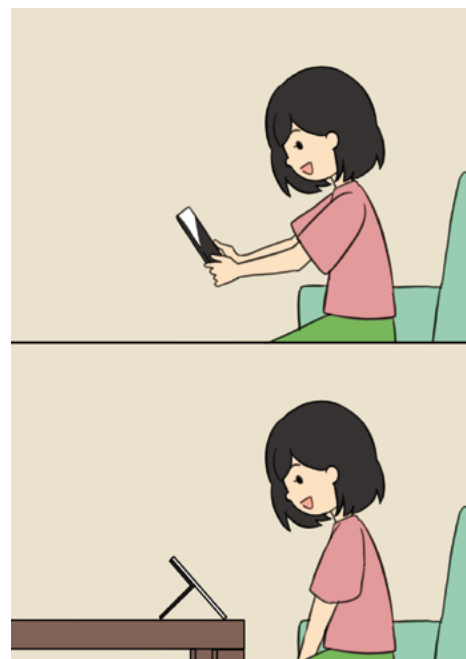
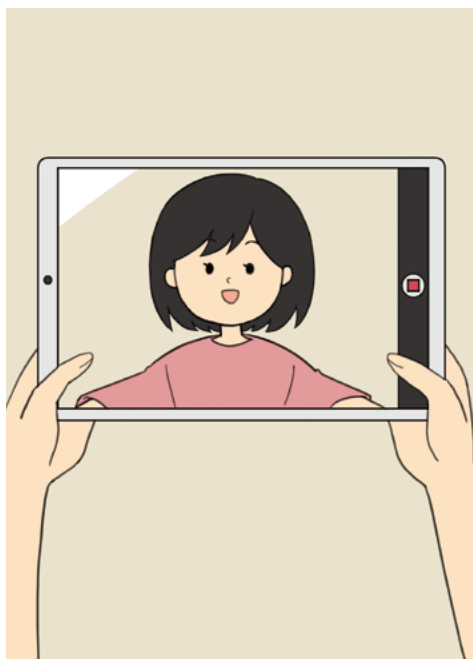
### 最初にチェックしてみよう

- <sup>わたし</sup>私は、練習のための動画を上手に<sup>と</sup>撮ることができると思う
- <sup>わたし</sup>私は、自分の行動をプログラミングで表すことができると思う
- <sup>わたし</sup>私は、「学習の目的」かどうかを<sup>はんだん</sup>判断して使うことができると思う
- <sup>わたし</sup>私は、「家庭のルール」を守って使うことができると思う

クラスで、<sup>じこしょうかい</sup>自己紹介（好きな食べ物とその理由）をする必要があるのですが、家庭で、<sup>じこしょうかい</sup>自己紹介の練習を一人ですることになりました。

カメラを使って、<sup>じこしょうかい</sup>自分の自己紹介を動画にとって、見かえしてみましよう。  
どのように撮ると、<sup>こうかてき</sup>効果的でしょうか。





★ スキルのポイント

カメラで自分の様子を撮り、ふりかえると様々なことに気づくことができます。しかし、きちんと撮影しないと、ふりかえったときに違う印象を受けてしまいます。

まずは構図です。自己紹介の場合は、顔だけでなく、手も映るような構図で撮るとよいでしょう。

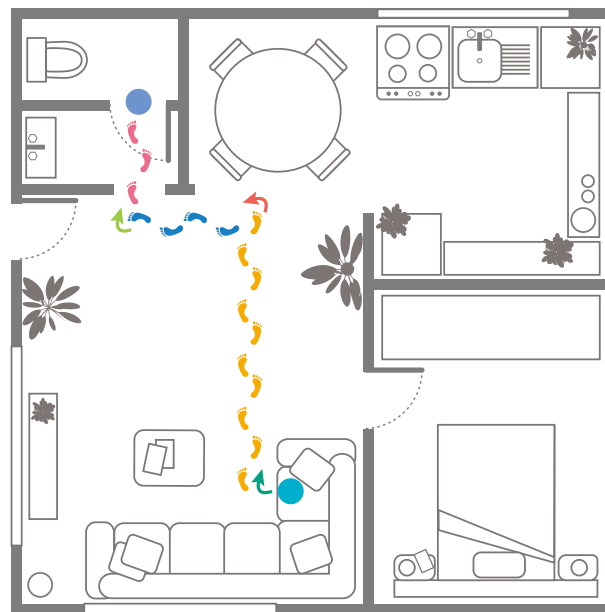
次に明るさです。暗い場所で撮ると、それだけで見た時の印象が変わってきます。できるだけ明るい照明の近くで撮るとよいでしょう。

最後に固定です。カメラを手に持ったまま撮影してしまうと、ブレてしまうので、固定して撮影するようにしましょう。

家の中の行動を細かく**ぶんかい**分解して、書き出してみよう。  
その行動を家族にやってもらったら、うまくできるでしょうか？

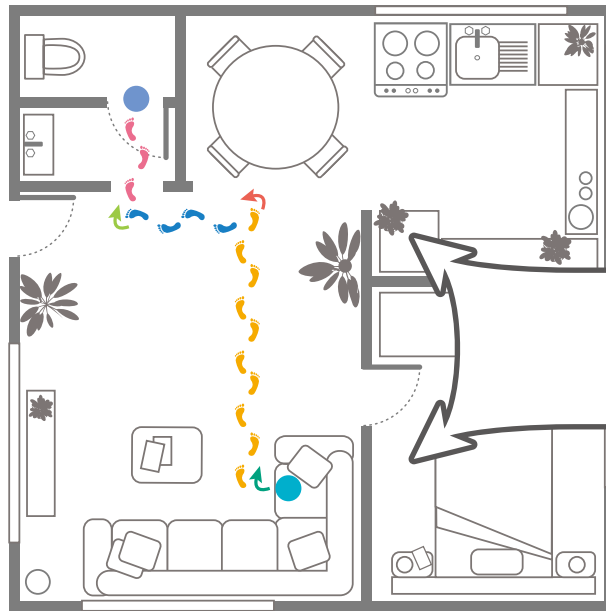
タイトル

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8



**例** リビングのソファからトイレまで移動する いどう

- 1 ソファから立ち上がる
- 2 右を向く
- 3 まっすぐ 10 歩進む
- 4 左を向く
- 5 まっすぐ 4 歩進む
- 6 右を向く
- 7 まっすぐ 3 歩進む
- 8 ドアを開ける



**例** リビングのソファからトイレまで移動する いどう

- ① ソファから立ち上がる
- ② 右を向く
- ③ まっすぐ1歩進む
- ④ まっすぐ2歩進む
- ⑤ まっすぐ3歩進む
- ⑥ まっすぐ4歩進む
- ⑦ まっすぐ3歩進む
- ⑧ ドアを開ける

ふり返ってみよう

★ スキルのポイント

家族にやってもらう場合には、「少し前」「もうちょっと右」などの声かけは禁止です。

「少し前」と言いたければ、それを「1歩前」などを書いておかなければなりません。まずは自分で何度も試してみましょ

う。また、自分が試したり、家族にやってもらう場合には、安全に気をつけて行いましょう。



## 「学習の目的」と言えるのかな

次の家庭での<sup>たんまつ</sup>端末の利用は、「学習の目的」と言えるのでしょうか。

「学習の目的と言える」と「学習の目的とは言えない」にわけてみましょう。

1  
クラブ活動の練習の  
ために、<sup>たんまつ</sup>端末でバドミ  
ントンの動画を見た

2  
勉強するときに、  
<sup>たんまつ</sup>端末で音楽をきいた

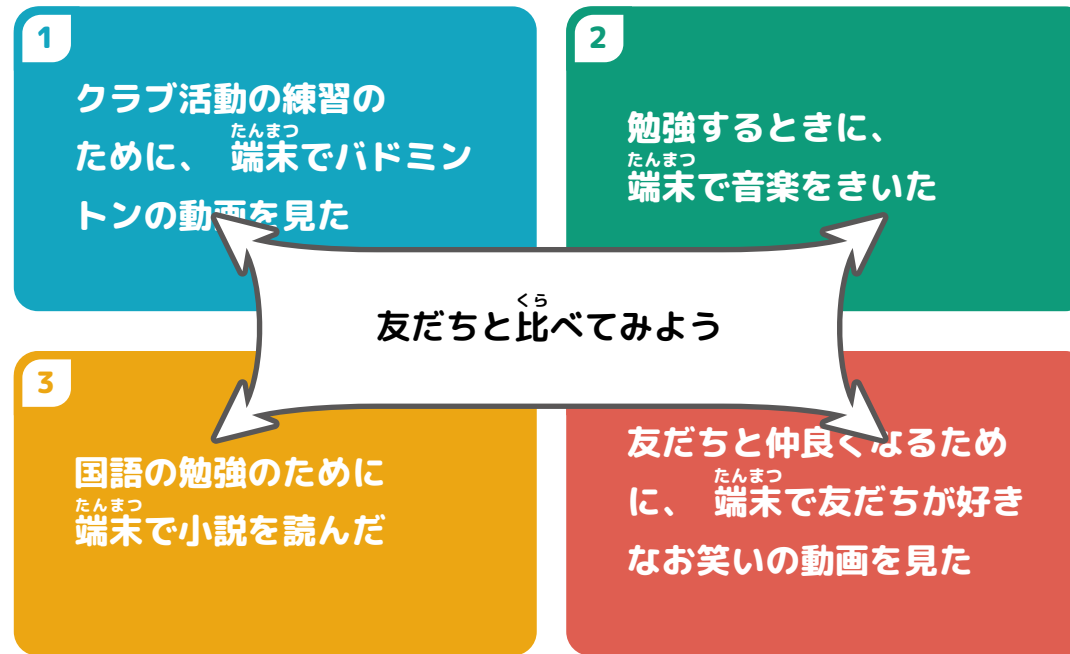
3  
国語の勉強のために  
<sup>たんまつ</sup>端末で小説を読んだ

4  
友だちと仲良くなるため  
に、<sup>たんまつ</sup>端末で友だちが好き  
なお笑いの動画を見た

学習の目的と言える **A**

**B** 学習の目的とは言えない





## ★ スキルのポイント

<sup>たんまつ</sup>端末を家庭に持ち帰ると、自分で「どこまで利用するか」を決めることになります。

すべてのケースを挙げて、「ここまでが学習の<sup>はんい</sup>範囲です」と決めることはできません。自分で、「どこまでが学習の<sup>はんい</sup>範囲かな」と考え、学習の目的で<sup>たんまつ</sup>端末を使うようにしましょう。

例えば、「もし学校の<sup>じゅぎょう</sup>授業や休み時間だったら、そのことは<sup>ゆる</sup>許されるのかな？」と考えてみると、「学習の目的」の線引きが考えやすくなります。

## ついついルールをやぶってしまうときは

あなたの家庭には、「宿題などのやることが終わったら、30分だけ動画を見てもよい」というルールがあります。でも、ついつい30分を超えて動画を見てしまうときがあります。

次の①～④のキーワードを使って、自分だったらどんな時に30分を超えて動画を見てしまうかを考えてみましょう。また、A～Dのキーワードの中から、自分ができるような工夫を1つ選んでみましょう。

1  
続きが気になる

2  
きりが悪い

3  
むちゅう  
夢中になってしまう

4  
だれ  
誰も注意してくれない

A  
時計やタイマーを使う

B  
じどうさいせい  
自動再生をオフにする

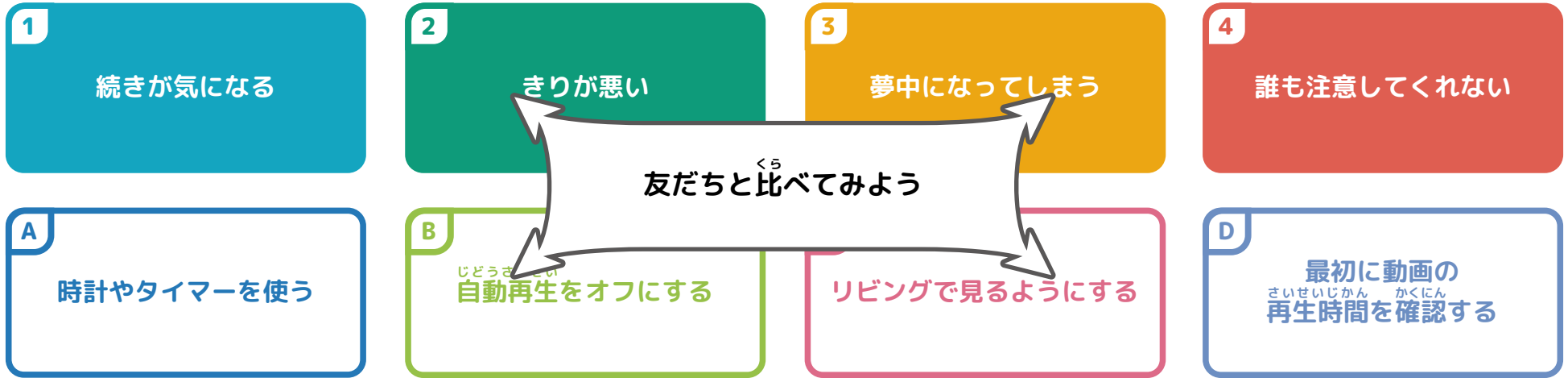
C  
リビングで見るようにする

D  
最初に動画の  
さいせいじかん かくにん  
再生時間を確認する

ルールを破 <small>やぶ</small> ってしまう理由	ルールを守れるようにする工夫
例) ④ <small>だれ</small> 誰も注意してくれない	例) c. リビングで見るようにする



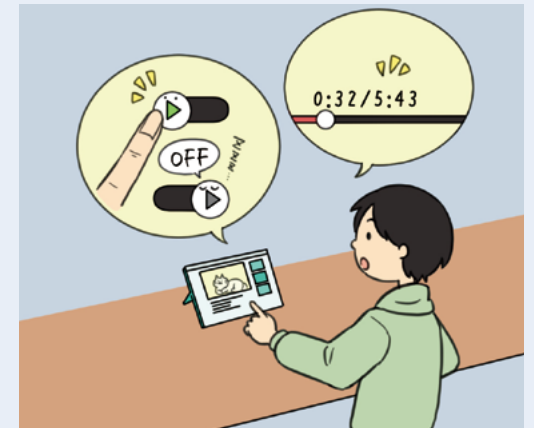




### ☆ スキルのポイント

ルールを決めても、ついついやぶってしまう時はあるかもしれません。その時は、**どんな時に自分がやぶってしまうのかを考えるとよいでしょう。**

もし、次が気になるなら、動画の「自動再生」をオフにする、集中して時間がわからないなら、時計を自分の見えるところにおいて、アラームをかけるなど、**どんな時に自分がやぶってしまうのかを意識して、その対策を考えてみましょう。**





## 家で使う

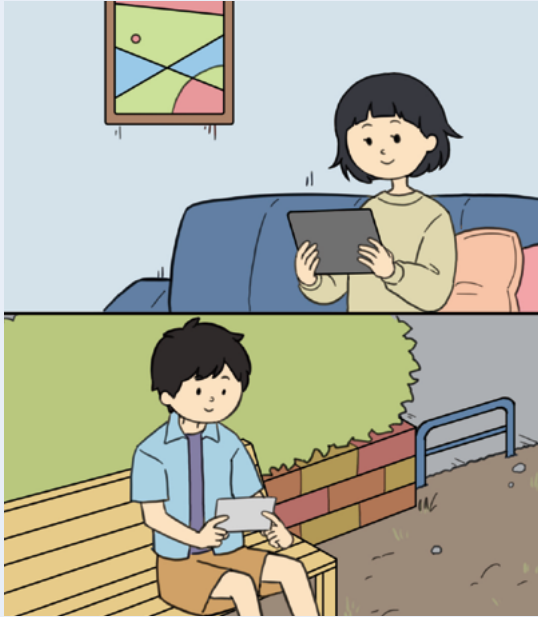
### まとめ

#### よき使い手になるために

「家で使う」ためには、家庭でルールを決めておくことが重要になります。<sup>たんまつ</sup>端末を学習の目的として使うために、どんなルールがあればよいか、家庭で話しあってみましょう。また、ルールを決めるだけでなく、「どんな時にそのルールを破<sup>やぶ</sup>ってしまうのかな」「どんな工夫をすれば、そのルールを守れるのかな」と考えてみるとよいでしょう。

#### チェックしてみよう

- <sup>わたし</sup>私は、練習のための動画を上手に撮<sup>と</sup>ることができる
- <sup>わたし</sup>私は、自分の行動をプログラミングで表すことができる
- <sup>わたし</sup>私は、「学習の目的」かどうかを判断<sup>はんだん</sup>して使うことができる
- <sup>わたし</sup>私は、「家庭のルール」を守って、工夫して使うことができる



学校で学習したことを、家庭で引き続き学習することができるのはなぜでしょうか。これまで、情報は手元の端末に保存され、処理されていましたが、インターネット上に保存し、処理することで、スマホでも家のタブレットでも、学校でも家庭でも同じデータやサービスを利用することができます。これを「クラウド」と言います。

例えば、動画共有サイトでは、家のタブレットで見た動画を、家の外でスマホを使って見ても、その動画の続きから見ることができます。これからの社会でも様々なクラウドサービスが登場し、どんな場所でも同じように学習や仕事ができるようになるでしょう。

調べてみよう

クラウドを利用したサービスやアプリには、どのようなものがあるだろうか。

考えてみよう

クラウドを利用したサービスやアプリが広がった場合、どんな問題が起きるだろうか？